

編集委員長からの報告 (Notice from the Editor-in-Chief)

日本陸水学会東海支部会「陸の水論文集」の番号付けに関する提案

野崎健太郎¹

On the numbering about Supplement of *Rikunomizu* (*Limnology in Tokai Region of Japan*)

NOZAKI Kentaro

日本陸水学会東海支部会は、公式の機関誌として「陸の水」を発行しています。機関誌の主体はニューズレターになりますが、2010年の43号は、東海支部会発足10周年を記念し「陸の水論文集」として発行されました。以来、2016年までは年1冊、2018年からは2年に1冊の間隔で発行を続けています。

このように、「陸の水論文集」は、ニューズレターの「陸の水」と一体化で番号付けされてきていますが、最初の論文集43号の編集委員長であった野崎健太郎の知識不足から、論文集の表紙には「号 (Number)」ではなく、「巻 (Volume)」と記載されてきています。この誤った書誌情報について、元支部会長の宗宮弘明会員から、論文集が継続しているのに、訂正すべきであろうとの意見をいただきました。

この意見について、2025年2月7日に開催された幹事会、そして2月16日の第28回総会（静岡県立三ヶ日青年の家）で議論した結果を受け、以下、2つの提案を行います。

1. 「陸の水論文集」は、「陸の水」との一体化した番号付けを継続する。

本来、「陸の水論文集」は定期的な刊行を意図しておらず、10周年記念等、支部会の大きな節目での不定期な刊行を想定していました。したがって、論文集として独立しての発行は行わず、「陸の水」と一体化した番号付けを行ってきました。あくまで支部会の正式な機関誌は「陸の水」1つということで、今後も同様の番号付けを継続します。ただし巻 (Volume) は使わず、号 (Number) を使います。

2. 「陸の水論文集」は、別冊としての番号付けを併記する。

宗宮弘明会員からは、「10冊以上にもなる論文集には、別冊の位置づけを行うことが大切だ。ニューズレターとの通し番号では図書館の整理上も不適當である。別冊や補足巻の意味を含む Supplement かどうか。」との具体的な提案をいただきました。そこで今後は、各論文の上部に次の番号付けを行います。

和文：陸の水 (*Limnology in Tokai Region of Japan*) **104** (論文集 **12**) : 1-6 (2025)

英文：*Rikunomizu* (*Limnology in Tokai Region of Japan*) **104** (Supplement **12**) : 1-6 (2025)

なお、これまでに発行した「陸の水論文集」は、以下の表1の記載に整理されます。

表1. 陸の水論文集の発行番号.

Table 1. Numbering about Supplement of *Rikunomizu* (*Limnology in Tokai Region of Japan*).

発行年 Year	号 Number	論文集 Supplement	備考
2010	43	1	論文集創刊
2011	48	2	
2012	54	3	
2013	60	4	
2014	64	5	
2015	70	6	
2016	74	7	
2018	80	8	
2020	87	9	87/88号は合冊
2021	88	10	
2023	97	11	
2025	104	12	

¹ 〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号, 椋山女学園大学教育学部 (E-mail: ken@sugiyama-u.ac.jp)

